



代表取締役 オーナーシェフ
田勢克也さん

プラチノ 上町本店

世田谷1-23-6 エクセル世田谷 1階
TEL:03-3439-2791
http://www.platino.jp

地元のお客様に 選ばれる名店

世田谷らしい魅力があり、地域と商店街を元気にしている個店を表彰する「キラリ輝く個店グランプリ」。第2回目となる今年度、物販・サービス部門のグランプリに輝いたのは、上町のポロ市通りに本店を構えるケーキショップ「プラチノ」。一番人気のお菓子はフランスの伝統的なケーキ「アンジュ」。独特の食感と滑らかさを持つチーズムースで、お客様のおよそ1/3がご購入するといいます。「アンジュは3〜4個の材料で作れるお菓子です。



ショーケースいっぱいのお菓子も夕方にはなくなってしまう

シンプルなケーキをいかに美味しく作れるか、創業当初からずっとそこにこだわっています」とオーナーシェフの田勢克也さんは語ります。与えられた素材のクセを見つけ、その素材を活かした最適な調理法で仕上げる。そんな田勢さんの確かな「腕」が、プラチノのお菓子一つひとつに息づいています。

店舗スタッフの方はご利用されるお客様の好みをしっかりと把握し、お客様に対応したご提案も行うといいます。これぞ地域密着！おいしくて、しかも自分の好みを知っているケーキ屋さん。ファンが多いのもうなずけます。



SETAGAYA NEW POWER!

世田谷区から
誕生した
話題の製品をご紹介します



代表取締役社長 上石大介さん

下北沢生まれの 木樽ジョッキ

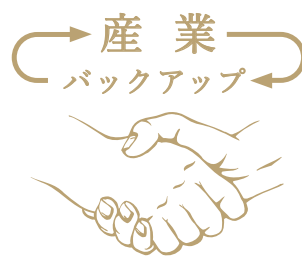


今回ご紹介するニューパワーは下北沢で生まれた話題の製品「木樽ジョッキ(キダルジョッキ)」。マンガや物語で海賊達がお酒を飲むのに使っている、あの木製の樽のジョッキを見事に市販用に再現したもの。実はそれまで日常的に使う製品としては存在していませんでした。このジョッキを作ったのは下北沢でバー「URAKITA(ウラキタ)」を営む、愛鷹製作所の代表取締役社長 上石大介さん。「ジョッキは全国どこの飲食店も同じような既製品を使っています。楽しい時間を演出するジョッキ、そこにはもっと個性を出したい」という思いで開発に着手。素材は九州の杉を選定し木組み。飲み口部分はおいしさがダイレクトに伝わるよう厚みや角度を工夫、その他にも様々な試行錯誤を重ね毎日使うジョッキとしての使いやすさと耐久性を獲得。下北沢で一品一品、手作業で丁寧に作っています。「バイキング(海賊)がいた北欧での販売なども視野に入れて、事業を拡大していきたいですね!」と上石さんは抱負を語ります。個性的な人が集まるシモキタでの「乾杯!」を、他のどこにもない木樽ジョッキが素敵に演出しています。



製作には全工程で1ヶ月半かかる

株式会社愛鷹製作所
代沢5-33-3 ポート代沢C201
TEL:03-6338-9222
http://urakita.info
[木樽ジョッキはURAKITA工房/株式会社愛鷹製作所の登録商標です。]



世田谷区の産業を
力強く支援



支部長 廣嶋実さん

世田谷区獣医師会
(東京都獣医師会世田谷支部)
代沢1-29-30
TEL:03-3411-3870
http://setagaya.vets.tokyo

ペットと人の快適な 生活環境の構築を目指して

世田谷区獣医師会は公益社団法人東京都獣医師会の一員として発足。世田谷区および関係機関との連携をはかり、世田谷地区の皆様へより質の高い動物医療を提供し、様々な公益事業を通して、人と動物の心豊かなコミュニティ作りを支援しています。世田谷区内の約60の動物病院の獣医師が会員となっています。具体的な活動としては、狂犬病予防注射、猫の避妊・去勢の助成事業、学校飼育動物支援と多彩です。毎年秋には、砧公園ねむのき広場で「世田谷区動物フェスティバル」を開催。子どもたちに動物と触れ合う機会を提供し、動物を大切にすることを通して、小さな頃から豊かな情操を育

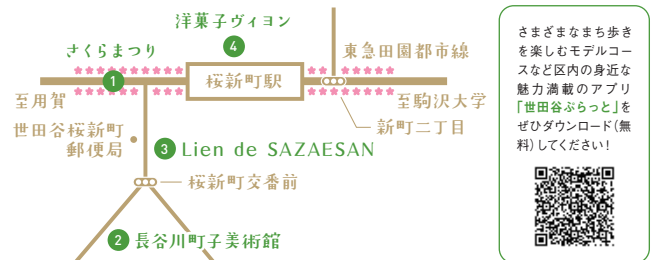


今年度で第36回目となった世田谷区動物フェスティバル

むことを目的に実施しています。「こどもふれあい動物教室」や「あおぞら相談室」などのブースの他に、ステージイベントも盛りだくさん。毎回大盛況となっています。世田谷にお住まいの方はペットに対する意識が高いといいますが、災害時のペットとの同行避難を実現するための環境整備など、解決しなければならない課題もあります。今後も、人と動物のよりよい共生社会の構築に努めていきます。



てくてくまち歩き
華やかさと優しさが
彩るまち 桜新町



さまざまなまち歩きを楽しむモデルコースなど区内の身近な魅力満載のアプリ「世田谷ふらっと」をぜひダウンロード(無料)してください!

1 その名にふさわしい桜の名所
東急田園都市線の桜新町駅周辺は、春になると桜が一斉に咲き、町全体が薄いピンク色に包まれます。毎年4月中旬には「さくらまつり」が開催され、見頃の八重桜と楽しい催しを目的に、多くの方で賑わいます。

2 サザエさんだけじゃない、長谷川町子の軌跡
『サザエさん』の作者である長谷川町子氏が描き続けてきた漫画の原画や、収集した美術品を展示。『いじわるばあさん』『エプロンおばさん』など、懐かしの漫画にも出会える美術館です。

長谷川町子美術館 100円引クーポン
有効期限:平成30.6.24まで
※2名様まで対象 ※コピー不可



3 サザエさん一家に触れられるカフェ
店内にアニメサザエさんの歴史を散りばめ、いつでもサザエさんの過去を閲覧できるように展示しているカフェ。「サザエさん焼き」などオリジナルのメニューも人気です。



4 ラム酒が香るドイツの伝統菓子
1965年の創業以来変わらない味を作り続け、全国からファンが買求めるバウムクーヘンは、昔も今も変わらず一つ一つが手作り。ドイツ菓子としての伝統を守り、驚くほどしっとりとした口当たり。隠し味には、ほんのり香るジャマイカのラム酒が、大人の味を演出しています。2017年DLGコンテスト(食品品質競技会)金賞受賞。

